

穫れたて新鮮あったか市開催



2月19日、鹿児島市の紫原で「穫れたて新鮮あったか市」と題し、錦江町のお茶や加工品、新鮮野菜などを販売しました。とても寒い中でしたが、第2回目ということもあり、錦江町の食材を求めに多くの方々を訪れ、加工品やお茶・米など大盛況でした。中には、品切れで注文まで入る食材もありました。錦江町の食材をより多くの方々に味わい、購入して頂くことにより、錦江町の食材やまちのPRにつながると期待できます。

元気な100歳、おめでとう！

3月1日、錦江園にて田中テルさんが、100歳を迎えられました。田中さんは、明治45年に田代村麓で生まれ、4人の子供を育てられました。現在でも錦江園内でのクラブ活動や行事に積極的に参加されています。当日は、町や社会福祉協議会からお祝いが贈られ、ご家族や親戚の方々に囲まれ、楽しいひと時を過ごされました。



農業経営・課題に取り組みます

2月3日、平成23年度鹿児島県女性農業経営士として笹原自治会の笹原幸子さんが県知事から表彰されました。女性農業経営士とは、農業経営に積極的に参画し、農家生活や農業経営・労働管理等の高度な知識や技術を有し、地域農業の課題解決に取り組み発言力や実践力のある方が認定される表彰です。錦江町ではこれまで4名の女性農業経営士として認定されており、笹原さんで5名となりました。



特産品開発の極意を伝授

2月13日、「特産品開発の極意」と題し、6次産業プランナーアドバイザーの川崎一郎さんによる講演が開催されました。昨年の12月に続き第2回目の講演となり、「特産品や商品にも売れる期間や季節、寿命がある。売れているときに次の商品へチャレンジ。新たに特産品を作るより、今ある物をパッケージ変更や形を変えるなどして、活かす発想も大事！」と話されました。



地域の安心安全を守れ！



2月20日、錦江警察署において田代柔道スポーツ少年団が錦江警察署長賞を受賞しました。田代柔道スポーツ少年団は、平成13年に発足後、毎年高齢者宅の訪問パトロールや不法投棄防犯キャンペーンに参加、老人ホームへの慰問など積極的に社会奉仕活動を行い、地域住民からも感謝の声が多く届いていました。発足当時からこの活動に参加している東中郡自治会の荒木大輔くんは「独居老人や高齢者の方々が安心して暮らせる町になってほしい。」と話していました。